

平成27年2月期 第2四半期決算参考資料

1. 当第2四半期連結累計期間の業績に影響を与えた主な項目

- 1) 食肉相場の堅調な推移
- 2) 主力加工品・ブランドミートの販売伸長
- 3) 販売価格の改定（昨秋実施）
- 4) 生産性の改善、物流の効率化、リスク管理の徹底等
- 5) 原材料価格の高騰、円安の進行
- 6) 消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減

2. 当第2四半期連結累計期間（平成26年3月1日～平成26年8月31日）の連結業績

（金額単位：百万円）

	平成27年2月期第2Q	平成26年2月期第2Q	伸び率(%)	公表予想	H26/2月期通期
売上高	74,711	69,162	8.0	74,000	144,154
営業利益	2,285	137	1,567.9	1,850	1,989
経常利益	2,225	74	2,906.8	1,750	1,837
四半期純利益	1,528	△158	-	1,200	896
EPS（円）	60.24	△6.25	-	47.30	35.33
ROE（%）	4.0	△0.4	-	3.1	2.4
ROA（%）	3.7	0.6	-	1.8	3.9

注)ROAは事業利益(営業利益+営業外収益)にて算出してあります。

3. 第2四半期連結累計期間の連結業績推移

（金額単位：百万円）

	H23/2期 第2Q	H24/2期 第2Q	H25/2期 第2Q	H26/2期 第2Q	H27/2期 第2Q
売上高	65,653	68,103	70,008	69,162	74,711
営業利益	807	953	△250	137	2,285
経常利益	826	1,072	△320	74	2,225
税引前純利益	758	1,307	△377	△40	2,444
四半期純利益	505	739	△401	△158	1,528
純資産	37,001	37,502	35,504	36,178	38,256
総資産	62,685	63,646	61,206	62,479	67,697
一株当たり純資産:円	1,332.23	1,351.51	1,397.40	1,423.97	1,506.01
一株当たり四半期純利益:円	18.24	26.69	△15.52	△6.25	60.24

4. 第2四半期連結累計期間セグメント別業績の二期比較

(金額単位：百万円)

	平成27年2月期 第2Q		平成26年2月期 第2Q	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
報告セグメント				
加工品事業	30,810	1,020	29,207	268
食肉事業	42,959	1,346	38,902	△140
小計	73,770	2,367	68,109	127
その他	940	△82	1,053	10
合計	74,711	2,285	69,162	137

5. 連結子会社一覧

(金額単位：百万円)

会社名	持分割合 (%)	売上高	総資産	事業内容
米久かがやき(株)	100.0	11,663	7,456	ハム・ソーセージ・デリカ製品の製造
(株)日宏食品	100.0	1,183	688	ソーセージの製造
米久デリカフーズ(株)	100.0	3,559	3,169	冷凍デリカ製品の製造・販売
国内加工品生産会社計		16,406	11,314	
YONEKYU U.S.A.,Inc.	100.0	1,361	987	ソーセージの製造
海外加工品生産会社計		1,361	987	
米久おいしい鶏(株)	100.0	6,122	4,772	鶏肉の生産・加工・販売
(株)マルフジ	100.0	1,243	363	牛肉の加工・販売
アイ・ポーク(株)	100.0	2,171	672	豚肉の加工・販売
大洋ポーク(株)	100.0	1,868	779	豚肉の生産・加工・販売
(農)広島県東部養豚組合	-	672	1,123	養豚
食肉供給会社計		12,077	7,710	
御殿場高原 ビール(株)	84.9	717	684	地ビールレストランの経営
その他の会社計		717	684	
合計		30,563	20,696	

持分法適用関連会社2社

・加工品・食肉事業

MIY(株)

・食肉事業

ときめきファーム(株)

6. 当第2四半期連結累計期間の業績

(1) 売上高

加工品事業では、ハム等は、主力商品のベーコンに加え、焼豚やローストポークなどが好調に推移しました。ソーセージは、主力コンシューマ商品「御殿場高原あらびきポーク」が伸長、また、デリカはトンカツ・春巻・ロールキャベツ等の販売が増加いたしました。

食肉事業では、食肉相場が前年同期を上回る水準で推移し、生産事業の収益が高まりました。

また、「六穀豚」や「大地のハーブ鶏」などのブランドミートの拡販、一次加工品「マザーシェフ」の販売促進、採算性を重視した営業活動等に注力した結果、収益性も向上いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、加工品事業は308億10百万円、食肉事業は429億59百万円となり、全体では前年同期に比べ55億49百万円増加し、747億11百万円（8.0%増）となりました。

(2) 売上総利益

原材料価格の大幅な上昇が続いているものの、生産性の改善により収益力が向上、食肉相場の高値推移も加わり、売上総利益は前年同期に比べ大幅に増加いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上総利益は、前年同期に比べ20億75百万円増加し、110億78百万円（23.0%増）となりました。

(3) 販管費、営業利益

物流の効率化、リスク管理の徹底等の推進によって販管費が削減し、営業利益は、加工品事業では10億20百万円（前年同期は2億68百万円の利益）、食肉事業では13億46百万円（前年同期は1億40百万円の損失）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の販管費は前年同期に比べ73百万円減少し、87億92百万円（0.8%減）となり、営業利益は21億48百万円増加し、22億85百万円（前年同期は1億37百万円）となりました。

(4) 営業外収支、経常利益

営業外収益が前年同期に比べ77百万円減少した一方、持分法による投資損失は40百万円減少し営業外費用は79百万円の減少となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の経常利益は前年同期に比べ21億51百万円増加し、22億25百万円（前年同期は74百万円）となりました。

(5) 特別損益、税金等調整前四半期純利益、四半期純利益

特別利益は、持分法会社への持分変動による特別利益により2億57百万円増加しました。

これらの結果、税金等調整前四半期純利益は24億44百万円（前年同期は40百万円の損失）となりました。なお、法人税等は8億2百万円増加しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の四半期純利益は、15億28百万円（前年同期は1億58百万円の損失）となりました。

7. 下半期の業績に影響を与える主な項目

- 1) 原材料・副原料の仕入価格の高止まり、円安の更なる進行
- 2) ユーティリティ費用・物流費の増加
- 3) 食肉相場の高値継続
- 4) 新TVCMの投入による加工品の販促強化
- 5) ブランドミートの拡販による食肉事業の収益拡大
- 6) 生産性の改善・物流の効率化等の更なる推進による収益性の向上

8. 通期業績予想

(金額単位: 百万円)

	今回予想	前期実績	伸び率(%)
	金額	金額	
売上高	150,000	144,154	4.1
営業利益	3,700	1,989	86.0
経常利益	4,200	1,837	128.6
当期純利益	2,700	896	201.2
E P S (円)	106.43	35.33	201.2

9. 設備投資及び減価償却費

(金額単位: 百万円)

		金額	主な内容		
連結 (上半期)	設備投資額	1,005	富士工場 米久かがやき ふじやま工場	デリカ製品生産機器他 加工品生産機械他 食肉一次加工ライン	77 439 84
	減価償却費	980	-		